

# ドリルアップ国語2年の特長と使い方

## はじめに

このドリルアップ国語は、中学2年で学習する国語の知識事項のドリルとして使用していただくことを目的として編集されたものです。

漢字・語句・文法の知識は国語の力の基礎となるもので、何度も繰り返し練習しなければ身につけません。このドリルアップ国語を計画的に活用していただくことで、国語の知識は万全のものになることと信じます。

## 特長と使い方

1 各回の構成……各回とも、表面に漢字の読み書き、裏面に語句・文法などの知識に関する問題が収めてあります。各回とも一〇〇点満点の配点付きで、理解度のチェックが容易にできるようになっていきます。左の目次で示した単元名は、裏面の知識事項の単元名です。

2 全体の構成……漢字の読み書きは、中学2年で学習する漢字を中心に出题されています。また、裏面では、2年で学習する語句・文法の知識に加えて、古典を読むときに必要とされる知識もとりあげ、国語の学習において覚えるべきことがこの一冊でマスターできるようにになっています。

3 使い方……計画をたてて少しずつこなしていく以外に、学年の後半に集中的にとりくんで、学年のまとめとする使い方もあります。

## 目次

16	漢語の組み立て(1)	31	32	中学2年までのまとめ(3)	63
15	漢字の音訓(2)	29	31	中学2年までのまとめ(2)	61
14	漢字の音訓(1)	27	30	中学2年までのまとめ(1)	59
13	慣用句・ことわざ(2)	25	29	敬語の知識	57
12	慣用句・ことわざ(1)	23	28	助詞(3)	55
11	副詞・連体詞・接続詞・感動詞(3)	21	27	助詞(2)	53
10	副詞・連体詞・接続詞・感動詞(2)	19	26	助詞(1)	51
9	副詞・連体詞・接続詞・感動詞(1)	17	25	同音異義語・同訓異字 類義語・対義語	49
8	漢字の組み立て	15	24	助動詞(3)	47
7	用言(3)	13	23	助動詞(2)	45
6	用言(2)	11	22	助動詞(1)	43
5	用言(1)	9	21	古典の基礎(2)	41
4	体言	7	20	古典の基礎(1)	39
3	中学1年の復習(3)	5	19	自立語のまとめ(2)	37
2	中学1年の復習(2)	3	18	自立語のまとめ(1)	35
1	中学1年の復習(1)	1	17	漢語の組み立て(2)	33

1

中学1年の復習(1)

氏名

得点

100

1 次の——線の読みがなを書きなさい。〈各1点〉

2 次の——線を漢字に直しなさい。〈各1点〉

(1) 両者を比較する。 ( )

(1) セスジをのばす。 ( )

(2) 激しい雷雨になる。 ( )

(2) 家族エンマンに暮らす。 ( )

(3) 食糧の自給率を高める。 ( )

(3) 難民をシユウヨウする。 ( )

(4) 商品を販売する。 ( )

(4) ケイコクを発する。 ( )

(5) 合格を祈願する。 ( )

(5) 物体が水にウク。 ( )

(6) 事業が軌道にのる。 ( )

(6) 国がサカえる。 ( )

(7) 堤防が決壊する。 ( )

(7) 何にでもウタガいをもつ。 ( )

(8) 家の周囲に垣根をめぐらす。 ( )

(8) 梅の花がサク。 ( )

(9) 悪臭がただよう。 ( )

(9) 物価がジヨウシヨウする。 ( )

(10) 田舎に疎開する。 ( )

(10) シンケンに考える。 ( )

(11) 鳥が翼を休める。 ( )

(11) ゲンカンをそうじする。 ( )

(12) 友だちの肩を持つ。 ( )

(12) ヤクソクを破る。 ( )

(13) 鉛を溶かす。 ( )

(13) キオクがよみがえる。 ( )

(14) 新しい年を迎える。 ( )

(14) シンセンな空気を吸う。 ( )

(15) 草木が茂る。 ( )

(15) 二人の話がフゴウする。 ( )

(16) 空気が乾く。 ( )

(16) ナイカクが倒れる。 ( )

(17) 円盤が空を飛ぶ。 ( )

(17) 小サツシを配布する。 ( )

(18) 和やかな雰囲気。 ( )

(18) 世界のチヨウテンに立つ。 ( )

(19) 詳細に検討する。 ( )

(19) チガいを見極める。 ( )

(20) 音楽を鑑賞する。 ( )

(20) 版画をスる。 ( )

(21) 特徴をとらえる。 ( )

(21) 借金をハラう。 ( )

(22) 最後まで抵抗する。 ( )

(22) コウリヨクが失われる。 ( )

(23) 厄介な仕事を済ます。 ( )

(23) 機械をソウサする。 ( )

(24) 雅楽を演奏する。 ( )

(24) コンチュウの生態を観察する。 ( )

(25) 敏感に察知する。 ( )

(25) 風でカンバンが倒れる。 ( )

③ 次の複数の漢字を組み合わせて、それぞれ一つの漢字を作りなさい。 〈各1点〉

(例) 人+本 → 体

- (1) 木+每
- (2) 雨+田
- (3) 女+良
- (4) 糸+岡
- (5) 竹+固
- (6) 山+上+下
- (7) 足+水+日
- (8) 女+氏+日

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)
(7)
(8)

④ 次の□の中と同じ字を入れて熟語を作るには、どのような字を入れたらよいですか。それぞれ書きなさい。 〈各1点〉

- (1) □間 — 行岸 — 大□
- (2) □点 — 瑯象 — 新身
- (3) 駢在 — 霜□ — 行来
- (4) □細 — 大□ — 鮎明
- (5) 桜□ — 打戦 — □避
- (6) 従□ — 絶□ — 願望

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)

⑤ 次の各組に共通して付けられる部首と部首名を、それぞれ( )内の分類を参考にして答えなさい。 〈両方できて各1点〉

(例) 永・炎・也・召…… (「へん」) → 彳 (さんずい)

- (1) 必・責・息・隹…… (「へん」)
- (2) 寺・由・商・処…… (「へん」)
- (3) 田・路・相・云…… (「かんむり」)
- (4) 列・昭・里・占…… (「あし」)
- (5) 半・肖・貝・害…… (「つくり」)
- (6) 各・才・日・艹…… (「かまえ」)
- (7) 里・邑・土・塾…… (「たれ」)
- (8) 米・束・白・告…… (「によう」)

(5)	(1)
(6)	(2)
(7)	(3)
(8)	(4)

⑥ 次の熟語の読み方は、あとにあげた読み方のどれにあたりますか。それぞれ記号で答えなさい。 〈各2点〉

- (1) 石段
- (2) 頭取
- (3) 地球
- (4) 絵筆
- (5) 箱庭
- (6) 厄年
- (7) 敷布

ア 音だけの読み	イ 訓だけの読み	ウ 重箱 <small>じゅうぼうこ</small> 読み	エ 湯桶 <small>ゆとう</small> 読み
(1)	(1)	(1)	(1)
(2)	(2)	(2)	(2)
(3)	(3)	(3)	(3)
(4)	(4)	(4)	(4)
(5)	(5)	(5)	(5)
(6)	(6)	(6)	(6)
(7)	(7)	(7)	(7)

⑦ 次の各組から、線部の漢字の読み方が他と異なるものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。 〈各2点〉

- (1) ア 余興
- (2) ア 発覚
- (3) ア 根拠
- (4) ア 街道
- (5) ア 宿命
- (6) ア 納品
- (7) ア 装置
- (1) イ 興業
- (2) イ 誘発
- (3) イ 証拠
- (4) イ 市街
- (5) イ 使命
- (6) イ 返納
- (7) イ 衣装
- (1) ウ 興奮
- (2) ウ 摘発
- (3) ウ 拠点
- (4) ウ 街灯
- (5) ウ 寿命
- (6) ウ 納入
- (7) ウ 装備
- (1) エ 再興
- (2) エ 発端
- (3) エ 占拠
- (4) エ 街路
- (5) エ 革命
- (6) エ 納税
- (7) エ 新装
- (1) オ 興亡
- (2) オ 発露
- (3) オ 準拠
- (4) オ 街頭
- (5) オ 命脈
- (6) オ 納得
- (7) オ 装飾

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)
(7)



